

# 総務産業常任委員会

9月7日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

9月7日

## 企業管理課関係

- 三浦課長から、
  - バスの運行はフェリーダイヤ、通学の時間帯への対応を基本としている
  - 平成26年度に小学校の統合があることから、老朽化したバスの更新を新年度に要求する
  - 赤字額は、地方交付税で80パーセントの補填があり、奥尻町へ一括交付なので実額は不透明
- との報告がありました。



委員から、来年度の運転手の採用は1名でよいのか、正副の整備管理者を置かなければならないのか、との指摘に対し、課長から来年度は1名の退職と1名が病気で乗務させていない実態

を配慮していきたい。整備管理者は今年度中に資格を取得させる。

また、委員から、低燃費の小型バスに対応できないのか、との意見に対して、課長から現在大型バス3台と中型バス2台で対応しており、通学時間帯では大型バスがないと無理なことから、現行のバスの保有がベターです。との回答がありました。

## 住民課関係

- 田中課長から、
- 青苗歯科診療所について夏目医師が江差で診療を始めるとのことで、青苗診療所を金曜日は休診したいとの意向である。
- 江差の開業により法人化したいとの意思があり、法人化され次第、契約方法を変更したい。
- 現状では、夏目医師が雇用する歯科医師と町とで契



約する方法をとる。

との報告がありました。委員から、金曜日が休診になるなら、町民への周知をし、不便をかけない対策をとるように、との指摘がありました。

あるので、役場の技師と点検を行うようにしたい。

○今までは目視で、学校と教育委員会で実施はしており、問題はなく心配はいらない。との説明がされました。

委員から、体育館の屋根の下のパネルのズレ、テレビの固定などの点検もすべきだ、との指摘がされたことについて、点検項目に加えるが、ピアノ、薬品庫などの落下防止などは行っている。との回答がありました。

## 教育委員会関係

- 石島教育長から、
- 北海道新聞に掲載された公立学校の非構造材耐震点検については、専門化による点検はしていない実態に

